

備前市事務事業評価表

事務事業名	教育委員会事務局運営事務（教育総務課）	コード	06-01-18-02
		担当課・係	教育総務課庶務係
		担当者	草加成章
事業実施期間	平成18年度	電話	0869-64-1802
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり	
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営	
	小項目(施策)	その他の事務管理（教育委員会）	

事業について	
目的 (何のために)	教育委員会事務局の運営事務及び事務局で使用する公用車管理を担当する。
対象 (誰・何を対象に)	教育委員会職員、教育従事者
内容	教育委員会の運営事務、教育総務課運営事務を行います。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
教育総務課職員数	7人	7人	
事務局運営費	3,270千円	2,644千円	
管理公用車台数	2台	2台	
事務局公用車管理事業	223千円	242千円	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	3,493	間接補助金等		直接事業費	2,644	間接補助金等				
	人件費	8,050	委託費負担	2,436	人件費	8,290	委託費負担	2,393			
		市債				市債					
合計	11,543	一般財源等	9,107	合計	10,934	一般財源等	8,541	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.90人	1.70人	
結果指標名	事務局費中消耗品費	事務局費中消耗品費	
結果指標量	7	7	
単位	人	人	
対前年比	-	100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	590,694円	481,369円	
単位当たりコスト	84,385円	68,767円	
結果指標名	公用車管理事業費	公用車管理事業費	
結果指標量	2	2	
単位	台	台	
対前年比	-	100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	222,576円	242,478円	
単位当たりコスト	111,288円	121,239円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	事務局運営事業の経常経費節減		
成果指標名	事務局教育総務課職員一人当たりの消耗品経費	式又は説明	事務局運営事業のうち、経常経費の消耗品費について、教育総務課職員一人当たりの金額を指標にします。 消耗品費 ÷ 教育総務課職員数
	17年度	18年度	
成果指標量	84,385	68,767	
対前年比	-	81.49%	0.00%
到達目標値	前年度並み	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	教育委員会事務局の運営事務及び事務局で使用する公用車管理を担当しており、経常経費について経費削減に努めている。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	事務の簡素化を進め、経費の節減に努め、事務局運営の効率化を図る必要がある。また、公用車管理は、日常点検を行い、突発的な修繕が生じないように管理する必要がある。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	経費節減について、職員の意識改革も一層の改善努力をする必要がある。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況		説明	
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量	職員一人当たりの消耗品費	結果指標量
	成果指標量	前年度並み	

総合評価	厳しい財政状況の中で、事務局運営事業における経常経費の節減を計測していくため、毎年事務事業の見直しを行い、改善に努める必要がある。 評価区分 <A~E> C
------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	需用費(消耗品費)予算の5%確保	平成20年度以降	計画的な予算執行を推進し、経費の節減につながる。